

Ⅲ 健康増進課関係業務

1 健康づくり事業関係

(1) 「健康上十三21」の推進について

上十三地域においては、「健康日本21」「健康あおもり21」を受け、早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、「栄養・食生活」「こころの健康づくり」「たばこ」「アルコール」に重点をおいた「健康上十三21」を策定し、平成14年度より推進してきた。計画最終年の平成24年度に行った最終評価では、全体の51%が目標達成、改善傾向となっている中、こころの健康づくりに課題が残っている。

「健康上十三21(第2次)」では第1次計画の最終評価と当地域の課題を踏まえ、「自殺予防」の推進と「喫煙防止」「肥満予防」を柱とした生活習慣病予防対策を推進することとしている。

(2) 「市町村健康づくり計画」の推進について

各市町村健康づくり推進協議会や研修会、会議等を通して市町村計画への支援を行った。

(3) 各市町村健康づくり推進協議会等への参加

全市町村の健康づくり推進協議会等の委員として保健所長が委嘱され、担当職員等と共に各市町村の推進協議会等へ出席し、市町村の健康課題及び対策について把握し、保健活動の推進に向け支援を行った。

市町村名	期 日	会 議 名	出 席 者
十和田市	平成27年6月30日	生涯健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成27年10月1日	こころの健康づくり部会	精神保健担当者
	平成27年10月28日	母子保健部会	母子保健担当者
	平成27年11月20日	生活習慣病予防部会	健康づくり担当者
	平成27年12月15日	生涯健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
三 沢 市	平成28年1月26日	健康推進対策協議会	健康増進課長、地区担当者
	平成28年2月29日	歯の健康づくり推進委員会	歯科保健担当者
野辺地町	平成27年6月4日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、地区担当者
	平成27年11月20日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
七 戸 町	平成28年1月29日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、地区担当者
六 戸 町	平成27年6月26日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成28年3月17日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、地区担当者
横 浜 町	平成27年7月14日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成27年10月30日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
東 北 町	平成27年10月20日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成27年12月1日	こころの健康づくり対策協議会	保健所長、地区担当者、 精神保健担当者
六ヶ所村	平成27年11月26日	健康づくり推進協議会	地区担当者

(4) 喫煙対策推進事業

喫煙は、肺がんや虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患など多くの疾患の危険因子であり、また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙対策は生活習慣病を防止する上で重要な課題である。

そこで、喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発を図り、「健康あおもり21」（たばこ領域）の基本指針及び行動目標を実現することを目的に、防煙・禁煙教室、受動喫煙防止対策推進のための研修会や空気クリーン施設の登録を行った。

ア 防煙教室・禁煙教室実施状況

開催回数	期日	場所	内容	講師名	対象参加者数
1	平成27年 7月1日	(株)ユアテック十和田営業所	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙の害について ・COPDについて ・受動喫煙について ・禁煙について ・空気クリーン施設について 	健康増進課 主幹 鳥谷部 牧子 技師 相坂 知里	上十三地区配電工事安全推進協議会参加者41名
2	平成27年 10月23日	東北町コミュニティセンター 未来館	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙の害について ・受動喫煙について ・禁煙について ・空気クリーン施設について 	健康増進課 課長 加賀谷 久子	平成27年度上十三地域婦人団体女性育成研修大会参加者228名
3	平成27年 11月16日	青森県立野辺地高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙の害について ・受動喫煙について ・空気クリーン施設について 	健康増進課 技師 工藤 梓 技師 相坂 知里	青森県立野辺地高等学校1学年生徒108名、担当教員4名
4	平成27年 12月8日	公益社団法人三沢市シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙の害について ・COPDについて ・受動喫煙について ・禁煙について ・空気クリーン施設について 	健康増進課 主任専門員 三戸 波子 技師 相坂 知里	公益社団法人三沢市シルバー人材センター会員28名

イ 世界禁煙デー・禁煙週間等における取組状況

事業名	テーマ	対象 参加者数	内容	講師
世界禁煙デー・禁煙週間の取組	受動喫煙防止対策、禁煙、空気クリーン施設について	上北地域県民局職員、来庁者	<ol style="list-style-type: none"> 世界禁煙デーポスター掲示 上十三保健所、十和田合同庁舎、七戸合同庁舎にて、世界禁煙デーポスターの掲示 十和田合同庁舎館内放送による受動喫煙防止の普及啓発 十和田合同庁舎内来庁者及び職員に対し、館内アナウンスによる世界禁煙デーの周知及び受動喫煙防止の普及（1日2回） グループウェアによる普及啓発活動 上北地域県民局職員に対し、COPD、受動喫煙、空気クリーン施設等に関するリーフレットをメールにて送信 	
親と子のよい歯のコンクール	受動喫煙防止対策、禁煙、空気クリーン施設について	親と子のよい歯のコンクール参加者及び歯と口の健康展来場者 111名	世界禁煙デーポスターの掲示、受動喫煙防止に関する啓発リーフレット及びテッシュの配布	
食品衛生協会総会研修会	COPD、受動喫煙、空気クリーン施設等について	食品衛生協会総会出席者 35名	COPD、受動喫煙、空気クリーン施設の普及啓発に関する研修会及びリーフレット配布	健康増進課 技師 相坂 知里

ウ 『空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）』・『空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）』推進事業

平成15年5月1日から施行された健康増進法において、受動喫煙による健康への悪影響を排除するために、多数の者が利用する施設管理者は、受動喫煙防止する措置を講ずるよう努めなければならない旨が規定された。

このことから、施設管理者及び飲食店経営者、タクシー会社管理者に対し、禁煙の措置を講ずるよう支援し、住民の良好な健康づくりのための環境整備に資することを目的に、「空気クリーン施設」の登録制度の普及を促進した。（平成28年3月末現在で416施設登録）

空気クリーン施設 施設種別・市町村別登録状況 (平成28年3月末)

*施設種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
十和田市	8	5	41	40	7		4		11		2	7	125
三沢市	7	3	10	21		3	0		4		2		50
野辺地町	2	5	12	15	3	5	1		1		1	13	58
七戸町	7	7	16	13	3	8	7		2		9		72
六戸町	4	2	12	6	1	4			2		2		33
横浜町	2	5	8	5		1			3				24
東北町	5		14	4	3				1		2	1	30
六ヶ所村	1		16	2	1		3		1				24
合計	36	27	129	106	18	21	15	0	25	0	18	21	416

*施設種別：1官公庁 2文化施設 3教育・保育施設 4医療施設 5福祉・介護施設 6体育施設 7事業所
8公共交通機関 9飲食店 10宿泊施設 11その他施設 12タクシー車輛

*喫煙対策推進事業実施要綱が平成20年度に改正になり「空気クリーン施設」の条件は、禁煙のみとなった（分煙は認めず）。

*青森県のタクシーは、平成22年7月1日から全面禁煙となった。

(5) 保健協力員の育成

保健協力員が活動に関する学習と情報交換を行い、活動を活性化するとともに、健康づくりの推進に役立てることを目的に研修会、役員会を実施した。

ア 上十三保健所管内保健協力員連絡会役員会

回数	期日	場所	内容	参加者数
1	平成27年 6月8日(月)	上十三保健所	1 平成26年度事業実施状況及び収支 決算報告について 2 平成27年度事業計画について 3 合同研修会について 4 役員改選について 5 各市町村事業計画について	保健協力員 8名 市町村職員 9名 保健所職員 2名

回数	期 日	場 所	内 容	参加者数
2	平成27年 7月9日(木)	上十三保健所	1 平成27年度合同研修会の進め方及び役割分担について 2 県協議会総会・役員会報告 3 各市町村活動の情報交換	保健協力員 8名 市町村職員 8名 保健所職員 2名
3	平成28年 3月4日(金)	上十三保健所	1 平成27年度事業実施状況及び予算執行状況について 2 平成28年度事業計画について	保健協力員 8名 市町村職員 8名 保健所職員 2名

イ 上十三保健所管内保健協力員連絡会総会及び研修会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成27年 8月25日(火)	J A十和田おいらせ 本店	1 平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画 2 活動紹介 ・十和田市 ・六ヶ所村 3 グループ演習 「健診の受診率アップを目指して」 4 講演 「生活習慣病を予防しよう！」 講師：上十三医師会 会長 石井 淳夫 氏	保健協力員 143名 市町村職員 16名 保健所職員 5名 その他(学生等) 6名

ウ 管内市町村保健協力員数

(平成27年4月1日現在)

市町村名	保健協力員数	市町村名	保健協力員数
十和田市	213	六戸町	78
三沢市	108	横浜町	60
野辺地町	94	東北町	173
七戸町	180	六ヶ所村	60
		計	966名

2 母子保健事業関係

(1) 療育相談（肢体不自由児等）

発育・発達に心配のある児童及び未熟児等を対象に整形外科専門医による相談を保健所内で年12回実施した。 (平成27年度)

市町村名	相談人員	再 掲		
		要治療	治療不要	経過観察
十和田市	38 (8)	4 (0)	3 (2)	31 (6)
三沢市	24 (6)	6 (1)	0 (0)	18 (5)
野辺地町	4 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)
七戸町	12 (6)	0 (0)	2 (1)	10 (5)
六戸町	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
横浜町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
東北町	11 (1)	2 (1)	2 (0)	7 (0)
六ヶ所村	2 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (1)
管 外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	92 (23)	15 (2)	7 (3)	70 (18)

() は新規利用者再掲

(2) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

疾病により、長期にわたり療養を必要とする児童について、小児慢性特定疾患医療受診券交付時面接や訪問、医療意見書に指示がある児の状況把握等を行い、支援強化を図った。

(平成27年度)

事業内容	専門医による相談		保健師による相談指導		
	小児慢性 特定疾患	未 熟 児	家庭訪問	面接相談	電話相談
相談件数	0	0	2	40	49

(3) 小児慢性特定疾患治療研究事業（小児慢性特定疾患医療費助成事業）

長期にわたり療養を必要とする児童の健全育成を目的として対象疾病の治療にかかった費用の一部を公費によって助成するとともに、治療方法等の情報を今後の治療研究に活かすことを目的とした制度である。平成27年1月1日から制度改正となり、対象疾病は11疾患群から14疾患群に追加・整理された。

(平成27年度)

	区 分	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	計
01	悪性新生物	4	8		1	1		1	1	16
02	慢性腎疾患	5	6	1	1	1	1	3	1	19
03	慢性呼吸器疾患	2	2							4
04	慢性心疾患	15	10	3	4			5	3	40
05	内分泌疾患	15	10		3	5	2	1	4	40
06	膠原病	3	2	1		1		1		8
07	糖尿病	3	3					2	1	9
08	先天性代謝異常	1	2							3
09	血液疾患	2		1	1	1				5
10	免疫疾患									0
11	神経・筋疾患	1	3	1		1			1	7
12	慢性消化器疾患	2				1		1		4
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	1								1
14	皮膚疾患							1		1
	計	54	46	7	10	11	3	15	11	157

(4) 小児慢性特定疾病児童手帳（ひまわり手帳）交付事業

小児慢性特定疾患の対象児童に対し、緊急の連絡先等を記載する手帳（ひまわり手帳）を交付している。

(平成27年度)

疾患名	件数
悪性新生物	2
慢性腎疾患	3
慢性呼吸器疾患	1
慢性心疾患	4
内分泌疾患	1
膠原病	0
糖尿病	1
先天性代謝異常	0
血液疾患	1
免疫疾患	0
神経・筋疾患	0
慢性消化器疾患	0
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	1
皮膚疾患	0
計	14

(5) 管内市町村妊婦連絡票実施状況

(平成27年度)

市町村名	妊娠届出数 A	妊婦連絡票提出数 B (B/A)	妊婦保健指導報告書発行数 C (C/B)	指導週数別				指導方法別				要連絡・指導 妊産婦連絡票 L	内訳		妊婦連絡票の提出はないが、保健指導を実施した数 O (O/A)	
				～ 11週	12～ 19週	20～ 27週	28 週～	窓 口	訪 問	電 話	そ の 他		受 理 数	妊 婦		産 婦
				d	E	f	g	h	i	j	k			m		n
				(d/C)	(e/C)	(f/C)	(g/C)	(h/C)	(i/C)	(j/C)	(k/C)		(m/L)	(n/L)		
十和田市	441	440 (99.7)	440 (100.0)	393 (89.3)	40 (9.0)	5 (0.1)	1 (0.2)	440 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	48	6 (12.5)	42 (87.5)	1 (0.2)	
三沢市	412	402 (97.6)	402 (100.0)	370 (92.0)	28 (7.6)	3 (0.7)	0 (0.0)	402 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	42	6 (14.3)	36 (85.7)	10 (2.4)	
野辺地町	73	70 (95.9)	70 (100.0)	59 (84.3)	10 (14.3)	1 (1.4)	0 (0.0)	70 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	9	3 (33.3)	6 (66.7)	3 (4.1)	
七戸町	73	73 (100.0)	73 (100.0)	60 (82.2)	10 (13.7)	3 (4.1)	0 (0.0)	73 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	13	3 (23.1)	10 (76.9)	0 (0.0)	
六戸町	76	75 (98.7)	75 (100.0)	66 (88.0)	7 (9.3)	1 (1.3)	1 (0.0)	73 (97.3)	0 (0.0)	2 (2.6)	0 (0.0)	11	1 (9.0)	10 (90.9)	1 (1.3)	
横浜町	23	23 (100.0)	23 (100.0)	20 (86.9)	3 (13.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	23 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2	0 (0.0)	2 (86.9)	0 (0.0)	
東北町	108	108 (100.0)	108 (100.0)	96 (88.9)	11 (10.2)	1 (0.9)	0 (0.0)	108 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	15	2 (13.3)	13 (86.7)	0 (0.0)	
六ヶ所村	86	86 (100.0)	86 (100.0)	79 (91.9)	6 (6.9)	0 (2.5)	0 (0.0)	86 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	12	0 (0.0)	12 (100.0)	0 (0.0)	
計	1,292	1,277 (98.8)	1,277 (100.0)	1,143 (89.5)	115 (9.0)	14 (1.0)	2 (0.1)	1,275 (99.8)	0 (0.0)	2 (0.1)	0 (0.0)	152	12 (7.9)	131 (86.2)	15 (1.1)	

()は%

(6) 管内市町村未熟児情報共有システム実施状況

(平成27年度)

	低出生体重児数		未熟児等出生連絡票受理数	出生時体重					在胎週数			未熟児等訪問指導連絡票発行数
	未熟児育療申請数	熟養医申数		1000g未満	1000～1500g未満	1500～2000g未満	2000～2500g未満	2500g以上	妊娠22～34週未満	妊娠34～37週未満	妊娠37週以上	
					4	2	4		2	5	2	
十和田市	26	7	12	0	4	2	4	2	5	2	5	12
三沢市	23	11	13	0	3	2	6	2	3	6	4	13
野辺地町	4	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1
七戸町	9	1	3	1	0	0	2	0	1	1	1	3
六戸町	9	4	6	0	0	1	4	1	1	0	5	10
横浜町	3	2	3	0	1	1	1	0	2	1	0	2
東北町	14	1	3	0	0	1	0	2	0	2	1	3
六ヶ所村	3	1	3	0	0	1	1	1	1	1	1	3
合計	91	29	44	1	9	8	18	8	14	13	17	47

(7) 母子保健ネットワーク会議等 —妊産婦支援体制整備事業—

虐待による死亡が生じ得るリスク要因として、保護者側の強い抑うつ状態が挙げられており、その対策として、育児の孤立化、育児不安の防止に努める「発生予防」の視点から、地域養育支援体制を整備する。

ア 母子保健ネットワーク会議

保健・医療等関係者等により、市町村や関係機関が実施する母子保健対策の推進に係る協議を行う。

回	期 日	場 所	出席者	内 容
1 回 目	平成28年 2月26日	サン・ロイヤルとわだ	医療機関：10名 市町村：保健師12名 児童相談所：1名 保健所：次長 健康増進課長 保健師5名 計30名	(1) 情報提供 「管内における妊産婦・未熟児等情報共有システム実施状況について」 (2) 講話 「上十三地区との周産期医療連携の現状と問題点について」 (3) 情報交換、意見交換 「妊娠、出産をとりまく切れ目ない支援に向けて」

イ 平成27年度市町村開催会議への支援

会議名	期 日	テーマ	出席者
十和田市生涯健康づくり推進協議会 母子保健部会	平成27年10月28日	「運動習慣定着に向けての支援 体制について」意見交換	母子担当
七戸町母子保健関係者ネットワーク 会議	平成28年2月25日	子どもの肥満の現状や課題、対 策について	管理栄養士 地区担当

(8) 産後うつ病の予防対策推進事業 — 妊産婦支援体制整備事業 —

乳児を抱える母親のメンタルヘルスに注意を向け、母親のメンタル面へのサポート体制を構築する。

また、母子保健サービスの中に「虐待予防」の視点を盛り込み、市町村母子保健関係者等の虐待予防に関する資質の向上を図った。

ア 医療機関へのエジンバラ産後うつ病スクリーニングの活用と普及

期 日	場 所	参加者数	内 容
平成28年 2月26日	サン・ロイヤル とわだ (母子保健ネットワ ーク会議に於いて)	医療機関 10名 市町村 12名 児童相談所 1名 保健所 7名 計30名	管内医療機関でのEPDS普及 状況、市町村でのEPDSカン ファレンスの実施状況等意見 交換した。

イ EPDS等(虐待例)妊産婦のカンファレンス

期 日	参 集 者	検 討 事 例
平成28年 2月2日	保健所保健師	EPDS 高得点ケースについて、市町村での情報共有や今 後の支援体制について市町村保健師に確認した。保健 所保健師で情報共有した。

※市町村でカンファレンスを実施するなど対応しており、保健所への相談件数はなかった。

(9) 乳幼児の虐待予防に関すること

市町村からの要望に応じ、会議等へ参加した。

ア 市町村要保護児童対策協議会への出席

市町村名	代表者会議	出席者	備考
十和田市	平成27年5月21日	健康増進課長	
三沢市	平成27年10月28日	母子担当者	
野辺地町	平成27年6月24日	健康増進課長	平成26年度から保健所が委員となる
七戸町	平成27年6月25日	健康増進課長	
六戸町	平成27年5月12日	健康増進課長	
横浜町	平成27年6月23日	健康増進課長	
東北町	平成27年7月28日	健康増進課長	
六ヶ所村	平成27年11月12日	健康増進課長	

(10) 女性健康支援事業

ア 女性の健康相談

(ア) 開催日：月1回（毎月第3火曜日） 受付時間：10:00～10:30

(イ) 場 所：上十三保健所 第1相談室

(ウ) 担当者：保健師

相談件数	来所相談 実人員	2名 (延2件)
	〈内訳〉	
	定 期	0名 (延0件)
	随 時	2名 (延2件)
	電話相談 実人員	1名 (延1件)
相談内容	思春期女子の健康相談	0件
	不妊に関する相談	1件
	婦人科疾患、更年期障害に関する相談	1件
	メンタルケア	0件
	その他、性感染症を含め女性の心身の健康に関する一般的な相談	1件

イ 特定不妊治療助成事業

(ア) 特定不妊治療費助成事業申請者 102名 (延166件)

(イ) 不妊専門相談センター利用者 1名

3 歯科保健事業関係

(1) 親と子のよい歯のコンクール実施状況

青森県歯科医師会と共催事業。健康な歯をもつ母と子を表彰し、幼児や父母及び地域社会の歯科保健への関心を高め、本県の歯科保健の推進を図ることを目的に実施した。

平成25年度から「母と子」から「親と子のよい歯のコンクール」に名称変更

平成26年度から対象が「母と子」から「親と子」に変更

期 日	平成27年6月6日(土) 13:00~15:00
場 所	十和田市イオンスーパーセンター十和田店
対 象	88組 参加者:20組
講 評	上十三歯科医師会長 黒田 雅仁氏

審査の結果:最優秀賞 三沢市の親子 優秀賞 三沢市、野辺地町の親子各1組

(2) 「8020運動推進特別事業」(歯科保健事業)

平成27年度上十三保健所食育推進事業「野菜料理を“+1品”」運動

事業区分 地域における食育推進に関する事業

事業内容 ①野菜の摂取に係るアンケート分析

②普及啓発用の媒体作成

③関係機関との連携

④出前講座等の実施

4 栄養改善指導事業関係

(1) 給食施設栄養管理指導事業

喫食者の健康増進を図ることを目的に給食施設を巡回し、施設における栄養管理の把握及び改善指導等を実施した。また、給食施設の調理従事者のスキルアップを図るため、栄養士や調理師を対象に研修会を開催した。

ア 巡回指導

	特定給食施設		特定多数人に対して継続して食事を供給する施設				計		総計
			1回あたり50食以上提供する施設		1回あたり50食未満提供する施設				
	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	
巡回施設数	32	7	11	7	0	2	43	16	59
対象給食施設数	48	8	47	21	11	21	106	50	156

イ 研修会

期 日	場 所	対 象	参加者数	内 容
平成27年 6月23日	十和田市民 文化センター	給食施設の栄養士、調理師等	240人	「食中毒予防について」 上十三保健所 主査 久保田文緒 「施設の衛生管理について」 上十三保健所 主査 久保田文緒 「給食施設における栄養管理について」 ・日本人の食事摂取基準（2015年版） について ・「野菜料理を+1品運動」の取組と健康上十三21の推進 上十三保健所 技師 船渡めぐみ

ウ 関係団体への支援等

保育研究会や上十三地区学校栄養士会等の各関係機関・団体に対して野菜不足の要因等「野菜料理を“+1品”」運動から得た情報を提供し、各関係機関・団体が実施する健康教育等への反映、機関紙への掲載等呼びかけた。

対応回数：6回 参加者数：112人

(2) 栄養表示、虚偽誇大表示に関する指導

ア 栄養成分及び健康の保持増進に係る指導

栄養表示相談及び指導：34件

虚偽・誇大表示相談及び指導：3件

イ 栄養成分表示に係る講習等

栄養成分表示の義務化に伴い、栄養価算出方法をテーマに講習会を開催するよう管内の道の駅に働きかけ、下記の通り実施した。実施に際しては、当所 生活衛生課、上北地域県民局地域農林水産部（農業普及振興室）と連携し、食品の表示の変更点等と併せて実施した。

期日	会場	参加者数	主催
平成27年9月29日	六戸町就業改善センター	18	株式会社 産直ろくのへの郷
平成28年1月29日	十和田市民交流プラザ タワーレ	60	上北地域県民局 地域農林水産部
2月29日	十和田市 総合体育センター	40	株式会社産直とわだ
3月14日	七戸農村環境センター 柏葉館	69	株式会社 七戸物産協会

(3) 食生活改善推進員の育成

管内食生活改善推進委員会の活動を支援し組織の育成を図った。

ア 役員会・会長会議等

会議名	場 所	回数	計
管内市町村会長会議	上十三保健所	3回	6回
	小川原湖青年の家	1回	
	天間林保健センター	1回	
	十和田市保健センター	1回	
三役員会	上十三保健所	1回	
監査会	上十三保健所	1回	

イ 総会・研修会

内 容	参加者数
日時：平成27年5月19日（火）10：30～14：00 場所：三沢市総合社会福祉センター 【総会】 ・平成26年度事業報告及び決算報告 ・平成27年度事業計画及び予算案 【研修会】 講演 「上十三保健所管内の健康課題と改善に向けた今後の取組」 講師 上十三保健所 健康増進課 課長 加賀谷 久子 上十三保健所 健康増進課 技師 船渡 めぐみ	会員：53名 市町村：8名 保健所：3名

ウ 管内市町村食生活改善推進員数

(平成27年5月19日現在)

市町村名	会 員 数	市町村名	会 員 数
十和田市	196名	六戸町	39名
三沢市	115名	横浜町	19名
野辺地町	31名	東北町	76名
七戸町	35名	六ヶ所村	36名
		計	547名

(4) 市町村栄養改善業務支援事業

ア 市町村栄養改善業務支援事業会議及び研修会

管内市町村栄養改善業務関係者のスキルアップを目的に会議と研修会を開催した。

	期 日	場 所	参加者数	内 容
会議	平成27年 9月7日	上十三保健所	11名	【協議】 ・栄養改善関係重点事業の取組について ・食生活改善推進委員会の活動支援について 【連絡事項】 ・栄養・食生活改善関係の表彰について
研修会	平成27年 10月5日	上十三保健所	10名	【研修伝達】 ・日本栄養士会 公衆衛生全国研修会 野辺地町 主任管理栄養士 新井山 静 ・国立保健医療科学院 短期研修 上十三保健所 技師 船渡めぐみ 【講義及び演習】 ・地域診断の進め方について 上十三保健所 技師 工藤 梓

イ 市町村への支援

市町村名	期日	研修会等
十和田市	平成27年7月7日	食生活改善推進委員会伝達講習会
	平成27年7月8日	食生活改善推進委員会伝達講習会
	平成27年11月7日	十和田市食生活改善推進委員会 設立30周年記念式典
七戸町	平成28年2月25日	食生活改善推進委員会研修会
東北町	平成27年10月22日	東北町食生活改善推進員養成教室
六ヶ所村	平成27年10月28日	六ヶ所村食生活改善推進員養成講座
	平成27年12月16日	六ヶ所村食生活改善推進員養成講座

(5) 青森のおいしい健康応援店認定事業

住民が外食等を利用する際に自分にあった適切なメニューを選択できるよう、肥満予防や食塩摂取量の減少、野菜摂取量の増加を踏まえた食事を提供している飲食店等を青森のおいしい健康応援店として認定した。

新規認定店舗数：3件

(6) 「野菜料理を“+1品”」運動(8020運動推進特別事業・食育推進事業)

住民が栄養バランスの良い適切な食習慣を身につけることができるよう、平成25年度から平成26年度にかけて実施した野菜の摂取に係る要因等に係るアンケート結果をまとめ野菜の摂取量増加に向けて普及啓発した。

ア 野菜の摂取に係るアンケートの分析

平成25年度及び平成26年度に実施した「野菜料理を“+1品”運動アンケート」をさらに集計、分析し、普及啓発活動に活用した。

イ 普及啓発用の媒体作成及び活用

研修会や健康まつり等の機会に野菜の摂取増加について広く普及できるよう、1日に必要な野菜量を示したのぼりや、噛み応えのある食材等を掲載したチラシ等の媒体を作成し、活用した。

ウ 関係機関との連携

管内の課題である肥満対策を推進するため、保育研究会や上十三地区学校栄養士会等の各関係機関・団体に対して、野菜不足の要因等「野菜料理を“+1品”」運動から得た情報を提供し、各関係機関・団体が実施する健康教育等への反映、機関紙への掲載等呼びかけた。

エ 出前講座等の実施

関係機関や団体等を対象に出前講座を実施し、野菜料理を一品多く摂取する習慣を定着させ、野菜の摂取増加やエネルギー過剰摂取の予防、バランスの良い食事の摂取等を普及啓発した。

実施回数：17回

対象者数：延べ888人

5 精神保健福祉関係

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者の市町村別・入院通院状況

(平成27年度)

医療区分 市町村名	総 数		入 院				通 院	その他
			小 計	措 置 入 院	医療保 護入院	その他		
十和田市	男	472	47		47		425	
	女	611	90		90		521	
	計	1,083	137		137		946	
三沢市	男	221	30	1	29		191	
	女	287	30		30		257	
	計	508	60	1	59		448	
野辺地町	男	78	15	1	14		63	
	女	133	30		30		103	
	計	211	45	1	44		166	
七戸町	男	99	10	1	9		89	
	女	122	22		22		100	
	計	221	32	1	31		189	
六戸町	男	72	13		13		59	
	女	73	9		9		64	
	計	145	22		22		123	
横浜町	男	29	4		4		25	
	女	36	8		8		28	
	計	65	12		12		53	
東北町	男	119	20		20		99	
	女	142	28		28		114	
	計	261	48		48		213	
六ヶ所村	男	50	14	1	13		36	
	女	51	5		5		46	
	計	101	19	1	18		82	
県 外	男	1	1		1		0	
	女	0	0		0		0	
	計	1	1		1		0	
合 計	男	1,141	154	4	150		987	
	女	1,455	222		222		1,233	
	計	2,596	376	4	372		2,220	

イ 精神障害者申請等処理状況

(平成27年度)

申請等別			指定医に よる診察 件数	措置	非措置	非措置者の状況	
申請	通報	計				入院	非入院
2	6	8	5	4	1	1	0

ウ 管内精神病院入院状況 (平成28年3月末)

医療機関名	精神総病床数	年度末現在入院患者数	年度末現在措置患者数
十和田市立中央病院	50	25	0
十和田済誠会病院	250	200	2
高松病院	239	235	0
三沢聖心会病院	140	97	0
計	679	557	2

エ 精神科救急医療システム利用状況 (平成27年度)

十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	不明	計
44	14	2	5	7	3	9	5	6	1	96

(2) 精神障害者保健福祉手帳所持状況

市町村別手帳所持者数 (平成28年3月末)

	手帳所持者 総数	手帳所持者等級別内訳		
		1級	2級	3級
十和田市	627	191	330	106
三沢市	278	135	113	30
野辺地町	106	39	51	16
七戸町	117	36	64	17
六戸町	81	32	44	5
横浜町	37	14	20	3
東北町	133	48	64	21
六ヶ所村	60	25	30	5
計	1439	520	716	203

(3) 精神保健福祉相談状況

開設状況：年12回(第3水曜日)

嘱託医：十和田市立中央病院メンタルヘルス科診療部長、高松病院副院長

ア 相談件数 (平成27年度)

	総件数	再 掲		
		定期	随時	電話
実数	79	14	23	42
延数	159	20	28	111

イ 目的別利用状況（延数）

（平成27年度）

相談内容	①受診・入院について	②通院・服薬について	③生活指導について	④経済的問題	⑤性格・行動上のこと	⑥患者への接し方について	⑦アルコールについて	⑧薬物について	⑨人間関係について	⑩施設入所について	⑪社会復帰について	⑫福祉サービスの利用について	⑬ひきこもり	⑭その他	計
定期	6	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	10	20
随時	7	0	6	0	0	0	0	0	2	1	1	1	0	10	28

ウ 市町村別件数（延人数）

（平成27年度）

	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	計
定期	14	2	1	1	0	0	2	0	0	20
随時	18	5	1	2	1	1	0	0	0	28

（4） 訪問指導状況

（平成27年度）

事業区分	保健師（相談員含む）			その他の職員			合計		
	一般	社会復帰	計	一般	社会復帰	計	一般	社会復帰	計
実人数	20	0	20	0	0	0	20	0	20
延人数	52	0	52	0	0	0	52	0	52

(5) 普及啓発活動

平成27年度は、「明日を生きる力アップ事業」をとおして「心の健康づくり事業」、「地域特性を踏まえた自殺対策力強化事業」を行い、市町村及び関係機関と協働し、普及啓発を行った。

ア 明日を生きる力アップ事業

(ア) 語り合いの機会づくり

事業名 期 日	場 所	対象者	開 催 内 容	参加者数
おしゃべりガレージ in 上十三保健所 平成27年 9月12日(土)	上十三 保健所	十和田市秋 まつりに参 加した管内 地域住民	創作活動をとおした語り合い、サロン スペース設置による語り合い、自殺統 計やこころの健康に関するポスター 掲示、こころの健康に関するクイズの 実施、こころの健康に関するリーフレ ットや相談窓口一覧の配布。	238名
上十三保健所管内 傾聴ボランティア等 交流会 平成28年 2月1日(月)	JA 十和 田おい らせ本 店 3階大 会議室	管内で傾聴 活動等を行 っている団 体、管内こ ころの健康 づくり担当 課	「上十三地域の自殺に関する意識調 査結果」について話題提供、「青森い のちのネットワーク」及び「NPO 法人 ほほえみの会」の活動について情報 提供、各団体の活動紹介、「生き生き と、活動を続けるために」をテーマ にグループワークでの情報交換。	45名

(イ) 自殺予防キャンペーンの実施

期 日 場 所	イベント名	こころの健康 クイズ参加者	自殺に関する 意識調査協力者	内 容
平成27年10月24日(土) 十和田市南公民館敷地内	南公民館 まつり	153名	147名	のぼり旗の設置、自 殺統計やこころの健 康に関するポスター 掲示、こころの健康 クイズ、「自殺に関 する意識調査」の実 施、リーフレット、 こころの健康度自己 評価票、相談窓口一 覧等を配布。
平成27年11月21日(土) 三沢市公会堂	みさわ健康 フェア	92名	124名	
平成27年9月12日(土) 青い森鉄道野辺地駅前	停車場 まつり	150名	150名	
平成27年11月28日(土) 横浜町ふれあいセンター	横浜町健康 づくり宣言 大会	95名	95名	

(ウ) 出前健康講座の実施

管内の希望のあった事業所に対して、保健所職員が講師となり、「職場におけるメンタルヘルス」をテーマに実施した。21回、延べ1,009名に講座を実施した。

(エ) 自殺ハイリスク者への支援

a 自殺未遂者対応研修会の開催

期 日：平成 27 年 12 月 25 日（金）

場 所：JA 十和田おいらせ本店 3 階大会議室

対象者：精神科医療機関、救急告示病院、警察署、消防本部、地域活動支援センター、社会福祉協議会、民生・児童委員、精神保健福祉に係るボランティア等、司法書士会、弁護士会、地域産業保健センター、労働基準監督署、労働基準協会、商工会議所、商工会、教育事務所、市町村、福祉事務所

内 容：情報提供「『自殺企図者実態調査』及び『自殺未遂者対応調査』結果について」
講 演「自殺未遂者への対応～再企図を防ぐために～」

講師 青森県立精神保健福祉センター 所長 田中 治 氏

参加者：100名

b 上十三地域自殺総合対策ネットワーク会議の開催

(8) 会議等及び研修 イ 関係者連絡会議参照

イ 青森多重債務被害等をなくす会（青森りんごの会）との協働事業

関係機関担当者会議 2回出席（うち1回は評価会）

ウ その他

会議、研修会等で相談窓口一覧（1,060部）、心の健康づくりに関するパンフレット等（756部）を配布

(7) 組織育成

精神障害者家族会、回復者クラブ、精神保健福祉ボランティアの育成支援を行った。

ア 精神障害者家族会の状況

	家族会	活 動 内 容 等	作業所等運営 (名 称)
家 族 会	とわだ家族会（十和田市）	・総会 ・学習会 ・会員間の交流 ・作業所等の運営	
	さつき家族会（三沢市）		
	山ざくらの会（六戸町）		
	つつじ家族会（東北町）		つつじ作業所
家 族 懇 談 会	野辺地町精神障害者家族懇談会	・当事者の会への協力	
	七戸町精神障害者家族懇談会 →平成 26 年度活動停止	・管内合同の学習・交流会の 実施	
	横浜町精神障害者家族懇談会		

イ 精神障害者家族会の活動状況

名 称	回数	内 容
つつじ家族会	1	つつじ作業所運営委員会に出席
上十三地区 精神障害者 家族学習交流会	3	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度事務局は、とわだ家族会（十和田市）が担当 ○実行委員会 2回 ○家族学習交流会 1回 日時：平成27年9月10日 10:00～15:00 場所：十和田市保健センター 参加者：56名 テーマ：「心でつながる仲間との和 ～お互いを大切にし、支え合える関係づくりを～」 内容：①交流レクリエーション ②情報交換会 ③講演「ラビアンローズ ～バラ色の人生を～」 ○平成28年度はさつき家族会（三沢市）が中心となって交流会の企画・運営を行う。

ウ 回復者クラブの活動状況

名 称	きざきのクラブ（三沢）
開催回数	年13回
会員数	5名

エ 精神保健福祉ボランティアの活動状況

名 称	会員数	活動内容
駒の会 （十和田市）	11名	<ul style="list-style-type: none"> ○自主的な活動を継続している。 ・定例会の実施 ・「サロンおあしす」の実施 ・心のひろば「ルピナス」へ参加 ※平成10年4月に看護ボランティアとして組織化。 平成15年4月から精神保健福祉ボランティアとして登録。
さつき友の会 （三沢市）	12名	<ul style="list-style-type: none"> ○自主的な活動を継続している。 ・「サロンひだまり」の実施 ・きざきのクラブ（回復者クラブ）の活動協力 ・青森県精神保健福祉ボランティア連絡協議会活動等 ※平成14年4月に組織化

オ 民間団体

名 称	内 容
特定非営利活動法人ワークハウスとわだ	十和田市や医療機関等関係機関と連携し、自主的な活動を行っている。

(8) 会議等及び研修

ア 精神保健福祉企画会議（所内）

期 日	開催内容	出席者
平成 27 年 5 月 27 日	平成 27 年度精神保健福祉事業活動計画	保健総室長、次長、健康増進課長、精神保健福祉担当保健師及び事務担当者、健康増進課員
平成 28 年 2 月 24 日	平成 27 年度精神保健福祉事業活動評価	

イ 関係者連絡会議

会議名	期 日	開催内容	出席者
上十三地域生活支援広域調整会議	平成 27 年 2 月 29 日	・「精神障害者の地域移行支援」について情報提供し、「精神障害者の地域移行支援の現状と課題」について精神科病院、指定一般相談支援事業所、市町村の立場から話題提供後、意見交換	37名出席 精神科病院、指定一般相談支援事業所、市町村
上十三地域精神科救急医療システム連絡調整委員会	平成 28 年 1 月 19 日	・精神科救急医療システムの運営状況について報告し、円滑な運営に向けた協議	30名出席 連絡調整委員会委員 (上十三医師会、救急医療施設、警察署、消防本部、地域家族会) 市町村担当者
上十三地域自殺総合対策ネットワーク会議（地域自殺対策官民連携協働会議）	平成 28 年 1 月 19 日	・上十三地域の自殺の現状について情報提供し、関係機関の自殺対策（自殺未遂者対策、学校現場での自殺予防の取組み等）に係る活動状況及び課題について情報交換及び協議	47名出席 ・地域保健医療福祉関係 9機関 (医師会、精神科医療機関、救急告示病院、地域活動支援センター、社会福祉協議会、民生・児童委員、市民ボランティア、市町村、福祉事務所) ・職域関係 9機関 (警察署、消防本部、司法書士会、弁護士会、地域産業保健センター、労働基準監督署、労働基準協会、商工会議所、教育事務所)

ウ 市町村に対する支援

- ・東北町こころの健康づくり（自殺予防）対策協議会へ1回出席
- ・十和田市生涯健康づくり推進協議会 こころの健康づくり部会へ1回出席
- ・十和田市セーフコミュニティ領域別部会 全体会へ2回、自殺予防部会へ4回出席

エ ケース会議等

措置入院患者等が退院後も地域で治療を継続できるよう精神科医療機関でのケア会議に出席、処遇困難事例についてケース会議を開催した。

会議名	場 所	回数	備 考
精神障害者ケース検討会	十和田市立中央病院	6	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族、関係者が退院後の治療の継続や生活支援について検討 ・関係者が処遇困難ケースの支援について検討 (心身喪失者等医療観察法に係わるケア会議を含む)
	十和田済誠会病院	3	
	公立野辺地病院	1	
	三沢市保健相談センター	1	
	三沢市総合社会福祉センター	1	
	野辺地町健康増進センター	1	
	六戸町地域包括支援センター	1	
	上十三保健所	1	

6 難病関係

(1) 新たな難病の医療費助成制度

原因不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、厚生労働大臣が定める疾病（指定難病）に対して、一定の認定基準を満たしている方を対象に、その治療に係る医療費の一部を助成し、医療費の負担軽減を図ることを目的とした制度である。

平成27年1月1日に「難病の患者に対する医療費等に関する法律（難病法）」が施行され、医療費助成の対象となる疾病が難病法施行前の56疾病から110疾病となり、更に平成27年7月1日からは306疾病に拡大された。

ア 特定医療受給者の状況（市町村別）

（平成28年3月末）

疾患番号	疾患名	市町村 管内計	十	三	野	七	六	横	東	六
			和田市	沢市	辺地町	戸町	戸町	浜町	北町	ヶ所村
	合計	1305	487	252	127	121	72	45	145	56
2	筋委縮性側索硬化症	13	4	1	4	0	1	0	3	0
5	進行性核上性麻痺	18	6	4	2	0	3	1	2	0
6	パーキンソン病	162	69	24	14	13	7	8	20	7
7	大脳皮質基底核変性症	4	0	2	0	2	0	0	0	0
8	ハンチントン病	2	0	1	0	1	0	0	0	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
11	重症筋無力症	27	12	8	1	3	1	0	0	2
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	27	7	9	4	3	2	1	1	0
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	7	4	1	2	0	0	0	0	0
17	多系統委縮症	13	1	5	1	0	3	1	2	0
18	脊髄小脳変性症（多系統委縮症を除く。）	186	101	22	11	25	8	2	15	2
19	ライソゾーム病	1	0	0	1	0	0	0	0	0
21	ミトコンドリア病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
22	もやもや病	17	5	2	3	1	1	3	1	1
26	HTLV-1 関連脊髄症	1	0	0	0	0	0	1	0	0
28	全身性アミロイドーシス	2	1	0	0	0	0	0	1	0
34	神経線維腫症	4	1	0	0	0	0	0	2	1
35	天疱瘡	11	3	1	1	3	1	0	1	1
37	膿疱性乾癬（汎発型）	6	3	1	1	0	0	0	1	0
40	高安動脈炎	12	1	5	0	1	2	0	1	2
42	結節性多発動脈炎	2	0	0	0	0	0	0	1	1
43	顕微鏡的多発血管炎	5	1	3	0	0	0	1	0	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	1	1	0	0	0	0	0	0	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4	1	1	0	0	0	1	1	0

疾患番号	市町村 疾患名	管内計	市町村							
			十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
46	悪性関節リウマチ	9	3	1	2	1	0	2	0	0
47	パージャール病	13	2	5	2	0	1	0	1	2
49	全身性エリテマトーデス	71	22	14	6	6	8	4	2	9
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	11	3	2	1	3	0	0	2	0
51	全身性強皮症	17	3	4	2	3	2	1	2	0
52	混合性結合組織病	17	8	2	2	1	1	0	1	2
53	シェーグレン症候群	2	1	1	0	0	0	0	0	0
56	ベーチェット病	23	7	4	6	0	2	0	4	0
57	突発性拡張型心筋症	17	10	3	0	0	0	0	2	2
58	肥大型心筋症	7	6	0	0	1	0	0	0	0
60	再生不良性貧血	15	3	1	1	5	1	2	2	0
63	突発性血小板減少性紫斑病	40	12	14	1	4	2	0	7	0
65	原発性免疫不全症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0
66	IgA 腎症	7	3	4	0	0	0	0	0	0
67	多発性嚢胞腎	1	0	1	0	0	0	0	0	0
68	黄色靭帯骨化症	7	2	0	3	0	0	1	1	0
69	後縦靭帯骨化症	71	25	17	5	3	4	4	8	5
70	広範脊椎管狭窄症	7	1	1	0	1	0	0	3	1
71	突発性大腿骨頭壊死症	35	14	4	2	8	1	1	4	1
74	下垂体性PRL分泌亢進症	6	3	1	0	1	0	0	1	0
75	クッシング病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	7	4	0	1	0	1	0	1	0
78	下垂体前葉機能低下症	20	6	6	2	1	1	0	4	0
83	アジソン病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
84	サルコイドーシス	28	14	3	4	2	0	1	3	1
85	突発性間質性肺炎	8	1	2	3	0	0	1	0	1
86	肺動脈性肺高血圧症	5	1	1	3	0	0	0	0	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1	0	0	0	0	1	0	0	0
90	網膜色素変性症	22	6	8	0	2	1	1	2	2
91	パッド・ギアリ症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0
93	原発性胆汁性肝硬変	32	11	8	7	2	1	1	2	0
95	自己免疫性肝炎	3	1	1	0	0	0	0	1	0
96	クローン病	58	14	14	5	7	5	3	5	5
97	潰瘍性大腸炎	191	68	34	20	15	11	4	31	8
98	好酸球性消化管疾患	1	0	1	0	0	0	0	0	0
107	全身型若年性特発性関節炎	2	2	0	0	0	0	0	0	0

疾患番号	疾患名	管内計	市町村							
			十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
113	筋ジストロフィー	2	1	1	0	0	0	0	0	0
117	脊髄空洞症	1	0	1	0	0	0	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症	1	0	1	0	0	0	0	0	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱瘡を含む。）	2	0	1	0	0	0	0	1	0
171	ウィルソン病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
222	一次性ネフローゼ症候群	10	3	0	2	2	0	0	3	0
254	ポルフィリン症	1	0	1	0	0	0	0	0	0
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	1	0	0	0	1	0	0	0	0
296	胆道閉鎖症	1	1	0	0	0	0	0	0	0

イ 特定医療受給者の状況（年齢別）

（平成28年3月末）

疾患番号	疾患名	年齢階層	合計	0	10	20	30	40	50	60	70
				～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳以上
合計			1,305	1	22	51	126	159	182	306	458
2	筋委縮性側索硬化症		13	0	0	0	1	0	0	7	5
5	進行性核上性麻痺		18	0	0	0	0	0	1	2	15
6	パーキンソン病		162	0	0	0	0	0	9	33	120
7	大脳皮質基底核変性症		4	0	0	0	0	0	0	0	4
8	ハンチントン病		2	0	0	0	0	0	1	0	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病		1	0	0	0	0	0	0	1	0
11	重症筋無力症		27	0	0	2	0	4	6	6	9
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎		27	0	1	0	8	7	5	4	2
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー		7	0	0	0	0	3	0	3	1
17	多系統委縮症		13	0	0	0	0	1	3	3	6
18	脊髄小脳変性症（多系統委縮症を除く。）		186	0	0	2	0	4	11	60	109
19	ライソゾーム病		1	0	0	0	1	0	0	0	0
21	ミトコンドリア病		1	0	0	0	0	0	0	1	0
22	もやもや病		17	1	0	1	6	2	5	2	0
26	HTLV-1 関連脊髄症		1	0	0	0	1	0	0	0	0
28	全身性アミロイドーシス		2	0	0	0	0	0	1	1	0
34	神経線維腫症		4	0	0	0	1	1	2	0	0
35	天疱瘡		11	0	0	1	0	0	2	4	4
37	膿疱性乾癬（汎発型）		6	0	1	0	1	2	0	1	1
40	高安動脈炎		12	0	0	0	4	0	2	4	2
42	結節性多発動脈炎		2	0	0	0	0	2	0	0	0
43	顕微鏡的多発血管炎		5	0	0	0	1	0	0	1	3
44	多発血管炎性肉芽腫症		1	0	0	0	0	1	0	0	0
45	好酸球多発血管炎性肉芽腫症		4	0	0	0	0	1	1	2	0
46	悪性関節リウマチ		9	0	0	0	1	3	0	2	3
47	バージャー病		13	0	0	0	1	4	4	4	0
49	全身性エリテマトーデス		71	0	3	8	11	12	15	17	5
50	皮膚筋炎／多発性筋炎		11	0	0	0	1	0	1	4	5
51	全身性強皮症		17	0	0	0	0	3	4	5	5
52	混合性結合組織病		17	0	0	0	0	6	5	4	2
53	シェーグレン症候群		2	0	0	0	0	0	1	0	1
56	ベーチェット病		23	0	2	0	5	3	4	5	4
57	突発性拡張型心筋症		17	0	0	0	0	2	3	7	5
58	肥大型心筋症		7	0	0	1	0	0	3	2	1

疾患番号	疾患名	年齢階層 合計	0	10	20	30	40	50	60	70
			～ 9 歳	～ 19 歳	～ 29 歳	～ 39 歳	～ 49 歳	～ 59 歳	～ 69 歳	70 歳 以上
60	再生不良性貧血	15	0	1	0	1	2	0	4	7
63	突発性血小板減少性紫斑病	40	0	1	2	4	4	7	7	15
65	原発性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	1	0	0	0
66	IgA 腎症	7	0	0	1	1	4	1	0	0
67	多発性嚢胞腎	1	0	0	0	1	0	0	0	0
68	黄色靱帯骨化症	7	0	0	0	0	1	1	2	3
69	後縦靱帯骨化症	71	0	0	0	2	5	9	22	33
70	広範脊椎管狭窄症	7	0	0	0	1	0	0	2	4
71	突発性大腿骨頭壊死症	35	0	1	0	3	9	9	7	6
74	下垂体性PRL分泌亢進症	6	0	0	0	3	2	1	0	0
75	クッシング病	1	0	0	1	0	0	0	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	7	0	0	0	0	1	2	2	2
78	下垂体前葉機能低下症	20	0	1	3	3	2	4	2	5
83	アジソン病	1	0	0	0	0	0	0	0	1
84	サルコイドーシス	28	0	0	0	5	3	9	6	5
85	特発性間質性肺炎	8	0	0	0	0	0	0	4	4
86	肺動脈性肺高血圧症	5	0	0	1	0	1	1	0	2
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1	0	0	0	0	0	0	0	1
90	網膜色素変性症	22	0	0	0	2	1	2	5	12
91	バッド・ギアリ症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0
93	原発性胆汁性肝硬変	32	0	0	0	0	0	5	14	13
95	自己免疫性肝炎	3	0	0	0	0	0	0	3	0
96	クローン病	58	0	8	8	16	12	9	4	1
97	潰瘍性大腸炎	191	0	2	15	34	45	32	36	27
98	好酸球性消化管疾患	1	0	0	1	0	0	0	0	0
107	全身型若年性特発性関節炎	2	0	0	1	1	0	0	0	0
113	筋ジストロフィー	2	0	0	0	2	0	0	0	0
117	脊髄空洞症	1	0	0	1	0	0	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症	1	0	0	0	0	0	0	0	1
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	2	0	0	0	0	0	0	0	2
171	ウィルソン病	1	0	0	1	0	0	0	0	0
222	一次性ネフローゼ症候群	10	0	0	0	2	5	1	1	1
254	ポルフィリン症	1	0	0	0	1	0	0	0	0
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	1	0	1	0	0	0	0	0	0
296	胆道閉鎖症	1	0	0	0	1	0	0	0	0

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

目的：難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の不安や悩みに対し、専門医等による指導・助言などを行う医療相談を実施し、また、医療相談に参加できない要支援難病患者やその家族に対しては、保健師や看護師等の相談員による訪問相談を実施することにより、在宅医療の推進を図ることを目的とする。

ア 医療相談等

炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）患者及び家族を対象に実施。

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成 28 年 1 月 13 日 (水)	市民交流 プラザ 「タワー レ」 (十和田市)	1 講話 「潰瘍性大腸炎・クローン病の食事のとり方の工夫について」 講師：十和田市立中央病院 栄養科 主任栄養士 古川 浩氏 2 情報提供 潰瘍性大腸炎・クローン病の患者会「IBD 友の会」紹介 3 質疑応答・情報交換 4 個別相談	20 名 (患者 6 名、 家族 5 名、 市町村職員 3 名、保健 所 6 名)

イ 訪問相談（難病患者等訪問相談員による訪問相談）

訪問 相談 件数	疾 患 群 別 内 訳											
	神経・筋疾患	代謝系疾患	皮膚・結合組織疾患	免疫系疾患	循環器系疾患	血液系疾患	骨・関節疾患	内分泌系疾患	呼吸器系疾患	消化器系疾患	腎・泌尿器系疾患	視覚系疾患
(17) 25	(16) 24	0	0	0	0	0	(1) 1	0	0	0	0	0

() 内は実数

(3) 保健師による訪問指導

訪問件数	疾 患 別 内 訳								
	多系統萎縮症	進行性核上性麻痺	筋萎縮性側索硬化症	脊髄小脳変性症	パーキンソン病	後縦靭帯骨化症	黄色靭帯骨化症	特発性大腿骨頭壊死症	
	神経・筋系	神経・筋系	神経・筋系	神経・筋系	神経・筋系	骨・関節系	骨・関節系	骨・関節系	
(22) 24	(2) 2	(3) 3	(5) 5	(4) 5	(5) 6	(1) 1	(1) 1	(1) 1	

() 内は実数

(4) 在宅重症難病患者家族支援事業

ア 目的：在宅療養を行っている重症難病患者(人工呼吸器を装着した筋萎縮性側索硬化症の患者をいう。)を常時介護している家族が、社会的理由が生じた場合並びに休息をとる場合に看護人が家族に代わって介護することにより、家族の社会参加を促すとともに、ALS 患者の在宅療養の環境を整え、患者、家族の生活の質の維持向上を図ることを目的とする。

イ 利用回数：1ヶ月1回を限度とし、1回あたりの利用時間は、7時間とする。
ただし、対象者の状況により、1回あたりの利用時間を4時間とし、1ヶ月の利用回数を2回まで分割することができる。

ウ 管内利用者：1名

(5) 健康相談状況

面接及び電話による随時健康相談を実施している。また、新規及び継続の医療受給者証交付申請や変更等の手続きや受給者証交付時に、個別面接相談及び電話による相談等にも対応している。

健康相談延件数	個別面接相談	電話相談
294 件	132 件	9 件

(平成 28 年 3 月末)

(6) 患者会の育成・自主活動支援

ア 特定疾患患者会「みさわ・もみじの会」への支援

平成 9 年 3 月 27 日に患者会として発足し、平成 18 年度から、自立した患者会として活動を開始している。保健所は定例会での講話等で活動を支援している。また、特定疾患医療受給者証の新規交付者に対して、「みさわ・もみじの会」の紹介のリーフレットを配布し、会の活動紹介をしている。

イ パーキンソン友の会十和田ブロック「たんぽぽの会」への支援

平成 26 年度、医療相談での会の紹介を契機に、パーキンソン友の会十和田ブロック「たんぽぽの会」の設立に向けた準備や会運営等の相談に助言し、会則を作成し会が正式に発足した。新規交付者に会の連絡先等の紹介をして協力している。

(7) 関係機関との連携

人工呼吸器を装着して在宅療養となる患者について、医療機関が主催した退院前カンファレンスに出席した。

7 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進関係

人口の高齢化、疾病構造の変化、ノーマライゼーションの意識の高まり等に伴い、住民のニーズが保健、医療、福祉を通じた総合的なものとなる中で、県民だれもが、生涯にわたり住み慣れた地域で、健康で安心した生活を送ることができるよう、保健、医療、福祉サービスが利用者本位の視点で、総合的・一体的に提供されることが望まれる。

その実現のために、住民に最も身近な市町村単位で保健、医療、福祉ケアシステムを構築することが必要であり、管内市町村における包括ケアシステムの推進・充実に向けた取り組みに関して支援を行っている。

(1) 包括ケアシステムに係る現地懇談会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成 27 年 8 月 24 日	東北町保健 福祉センタ ー 多目的 ホール	東北町の保健福祉の現状 情報提供 ・東北町における保健・医療・福祉包括ケアシステム の全体的な取組状況 ・東北町における保健師活動「5歳児健診における発 達支援と連携」 ・懇談	27名 青森県知事、健 康福祉部次長、 上北地域県民局 長、東北町長他 関係職員他
平成 27 年 12 月 15 日	野辺地町健 康増進セン ター多目的 ホール	野辺地町の保健福祉の現状 情報提供 ・野辺地町における保健・医療・福祉包括ケアシステ ムの全体的な取組状況 ・野辺地町における保健師活動「健診からはじまる多 様なニーズに合わせた健康づくり～『来てよかつ た』の実感から習慣の定着へ～」 ・懇談	28名 青森県知事、健 康福祉部長、上 北地域県民局 長、野辺地町長 他関係職員他

(2) 上十三地域橋渡しネットワーク委員会

本委員会は、医療機関の利用者が、退院して地域で生活する場合に退院調整や情報提供を行い地域で適切なサービスを受けられるように、また、地域で療養している方が医療機関に入院する場合にスムーズに移行できるように医療機関と地域を結ぶ橋渡しのためのネットワークを構築することを目的としている。平成 25 年度から十和田市立中央病院が事務局となり、委員会を開催。

ア 委員 13 名

委員の所属は、十和田市立中央病院、十和田第一病院、公立野辺地病院、公立七戸病院、高松病院、六戸町国民健康保険病院、三沢市立三沢病院、居宅介護支援事業所えがお、十和田市高齢介護課包括支援センター、十和田市健康増進課、七戸町地域包括支援センター、上十三保健所

イ 会議出席状況

回数	期 日	場 所	内 容
1	平成 27 年 6 月 11 日	十和田市立中央病院 3 階カンファレンス室	今後のネットワーク委員会の取組と年間開催計画について協議。情報交換を実施。
2	平成 27 年 10 月 22 日	十和田市立中央病院 3 階カンファレンス室	委員会開催要綱（案）・困難事例の検討。情報交換を実施。
3	平成 28 年 2 月 25 日	十和田市立中央病院 3 階カンファレンス室	委員会開催要綱（案）・困難事例の検討。情報交換を実施。

（３）介護予防事業及び市町村支援 延べ 10 回

各市町村の地域ケア会議等へ委員として出席し支援した。

（４）上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議

「保健・医療・福祉包括ケアシステム」の構築・発展に向け、二次医療圏及び市町村の実情に応じた体制整備について協議検討を行うために設置している。上十三地域保健医療推進協議会と併催した。

期 日	場 所	内 容	出席者数
平成 28 年 3 月 9 日	富士屋 グランド ホール 2F 平安の間	(1) 情報提供 ・上十三地域における地域医療構想の推進体制について ・在宅医療・介護連携について (2) 報告事項 ・「健康上十三 21（第 2 次）」の概要と取組状況について ・「健康上十三 21（第 2 次）」の目標項目の達成状況について (3) 協議事項：健康上十三 21（第 2 次）」の推進に向けて (4) その他：平成 28 年度上十三保健所事業について	委員 18 名 (1 名欠席)

8 地域保健支援のための総合的地域診断システム構築事業

総合的地域診断システム推進事業は、県及び各保健総室（保健所）における情報分析機能を強化するとともに、保健所関連業務に係る各種情報をデータベース化する過程を通して質的データの分析手法を確立するものである。

平成23年度は、総合的地域診断手法定着事業として実施。

平成24・25年度は、糖尿病に着目し糖尿病地域診断機能強化推進事業として実施。

平成26・27年度は、市町村等「健活」推進事業として実施。

(1) 市町村等「健活」推進支援事業

ア 健診等関連データ分析結果活用検討会（保健所主催）

期 日：平成27年10月5日（月）

場 所：上十三保健所二階会議室

参 加 者：管内保健師、特定健康診査データ集計・分析事務担当者等 18名

内 容：講義「地域診断の進め方について」

上北地域県民局地域医健康福祉部保健総室 技師 工藤 梓
演習「データ分析による地域の状況・健康課題の把握」

イ ツールを用いた、健診データの集計及び分析

健診データ及びレセプトを管内市町村が集計したものを取りまとめ、がん・生活習慣病対策課へ提出した。

管内健診データ集計結果を、ツールを用いて分析し市町村へ情報提供をおこなった。

(2) 健やか力向上推進事業

県民一人ひとりが健康づくりに関する知識を高め、実践できる力、ヘルスリテラシー（健やか力）を身に着けるため、県民の行動変容に繋がるよう各ライフステージに関わる関係機関が連携・協働してエビデンスに基づく情報・資料を基に教材等を作成し、普及啓発活動を行うとともに、共通の情報を繰り返し県民に提供できるよう医師等の専門職や保健協力員等の地区組織団体を対象とした研修を行い、普及啓発活動の担い手（健康教育サポーター）を育成する。

ア 健康教育サポーター人材育成・強化研修会

期日：平成27年8月25日

場所：JA十和田おいらせ本店

対象：管内市町村保健協力員及び関係職員

出席者143名

講師：上十三医師会 会長 石井 淳夫氏

内容：「生活習慣病を予防しよう！」

イ 普及啓発

出前健康講座等の機会に「健やか力」向上の普及啓発を図った。

9 人材育成

(1) 管理栄養士学生実習

大学名	実習期間	実習人数
青森県立保健大学 健康科学部栄養学科	平成 27 年 6 月 22 日～6 月 26 日 5 日間	3 人

(2) 初任期・新任期保健師研修

26年3月に新たに策定された「青森県保健師活動指針」に基づき、行政に働く保健師の役割を意識付けするとともに、地域保健活動を展開するための基本的な意識及び技術を習得することを目的として、初任期保健師研修（採用1年目）と、新任期保健師研修（採用2～5年目）に区分し研修を実施した。

ア 対象者

初任期保健師：三沢市1人、横浜町1人（8月退職）、六ヶ所村1人

新任期保健師：三沢市2人、野辺地町2人、六戸町1人、横浜町1人、六ヶ所村2人、上十三保健所4人（育休1人）

イ 実施状況

初任期保健師研修（4回）

回数	期 日	内 容	参加者数
1	平成 27 年 8 月 27 日	「乳幼児の運動発達」(はまなす医療療育センター)	1 人
2	平成 27 年 10 月 27 日	意見交換・情報交換 地域における保健師活動 ゲートキーパー育成指導者研修への参加 (新任期保健師研修合同)	2 人
3	平成 27 年 12 月 14 日	事例検討 (新任期保健師研修合同)	1 人
4	平成 28 年 2 月 19 日	事業評価について、意見交換	1 人

新任期保健師研修（2回）

回数	期 日	内 容	参加者数
1	平成 27 年 10 月 27 日	意見交換・情報交換 地域における保健師活動 ゲートキーパー育成指導者研修への参加 (初任期保健師研修合同)	9 人
2	平成 27 年 12 月 14 日	事例検討 (初任期保健師研修合同)	11 人

(3) 新任等保健師育成支援

市町村の20歳代等の若手の保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援することとし、「地域全体を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることにより、地域保健活動を活性化することを目的とし実施した。

1) 実施市町村（青森県新任等保健師育成支援事業）

市町村名	対象		トレーナー保健師	実施日数 (評価会等含む)
横浜町	1年目	1人	北山つね子氏	8日

・初任期保健師の中途退職により、8月で事業を終了した。

(4) 保健師連絡会議

管内保健師の資質の向上と保健師間の情報の共有を図り、連携を強化して管内の保健活動を推進することを目的に開催した。

回数	期 日	内 容	参加者数
1	平成27年 8月11日	① 研修伝達「国立保健医療科学院長期研修（地域保健福祉専攻科）から」 上十三保健所 主査 瀬川 香代子 ② 話題提供「横浜町喫煙防止対策の取組～たばこの害から子どもを守ろう～」 横浜町健康福祉課 総括保健師 畑中晴美 ③ 情報提供・情報交換「今年度の重点活動等について」	市町村保健師24人 保健所保健師8人
2	平成27年 11月30日	① 話題提供「5歳児健診における発達支援と連携」 東北町保健衛生課 総括保健師 富田 真弓 ② 情報提供 ・国民健康保険県調整交付金の評価について ・保健活動におけるトピックについて ③ 講話「地域保健をめぐる動向」 上十三保健所長 山中 朋子	市町村保健師26人 保健所保健師等7人